

2018年4月19日
京成電鉄株式会社

「旧博物館動物園駅」駅舎が、 「東京都選定歴史的建造物」に選定されました ～鉄道施設として初めての選定～

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2018年4月19日(木)付で「旧博物館動物園駅(東京都台東区上野公園13-23)」駅舎が、特に景観上重要な歴史的価値をもつ建造物として、「東京都選定歴史的建造物」に選定されました。「東京都選定歴史的建造物」に鉄道施設が選定される例は、本件が初めてとなります。

「旧博物館動物園駅」駅舎の位置する一帯は、上野「文化の杜」新構想において、谷中・根津・千駄木・日暮里・上野公園をつなぐポイント「アート・クロス」として、上野エリアにおける新たな文化拠点としての役割を担うことが期待されています。

当社では、中期経営計画「E3プラン」において、「沿線エリアの魅力向上」を基本戦略の1つとして掲げておりますが、今般、「旧博物館動物園駅」駅舎の歴史的価値が認められたことを一つのきっかけとして、同駅舎を保存・活用することにより、上野エリアの魅力向上に貢献してまいります。具体的には、駅舎の傷みや汚れ等を改修する工事を実施するとともに、同駅舎の活用方法について、国立大学法人東京藝術大学(所在:東京都台東区、学長:澤 和樹)と昨年6月に締結した「連携・協力に関する包括協定書」に基づき、同学と検討を進めてまいります。詳細につきましては、決定次第お知らせします。



東京都選定歴史的建造物に選定された「旧博物館動物園駅」駅舎
※写真は一部加工してあります

【ご参考】

1. 旧博物館動物園駅について

1933年12月開業。当時、駅舎の建設予定地が御料地であったため、御前会議での昭和天皇の勅裁を受けての建設となりました。こうした事情が考慮されてか、駅舎内外の意匠は西洋風の荘厳なつくりとなっております。

開業以後、帝室博物館（現・東京国立博物館）や恩賜上野動物園の最寄り駅として利用されてきましたが、利用者の減少により、1997年に営業休止、2004年に廃止となりました。駅舎やホームなどは当時の姿が残っております。



開業時の博物館動物園駅



駅舎建設中の様子

2. 東京都選定歴史的建造物について

東京都景観条例に基づき、歴史的な価値を有する建造物（原則として建設後50年を経過しているもの）のうち、景観上重要なものとして都知事が選定するものです。

2018年3月末現在、東京藝術大学（赤レンガ1号館、2号館ほか）、伊勢丹本店本館、葛飾区山本亭等のほか、吾妻橋や言問橋等、全92件が選定されております。

3. 上野「文化の杜」新構想について

上野地区に位置する文化・文教施設、行政、民間企業等で構成する『上野「文化の杜」新構想推進会議』が、2020年に向けた国際発信戦略として平成27年7月にとりまとめたものです。

4. 東京藝術大学と京成電鉄との連携・協力に関する包括協定の締結について

2017年6月26日付で、東京藝術大学と京成電鉄では、文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては日本の芸術文化の振興を図ることを目的とし、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進することに合意し、包括協定を締結しました。

以 上